

読者のために

☆天皇の影響力を超えているか

愛知県名古屋市長 伊藤幹彦

略啓 141号天野恵一さん「編集後記」への意見。山本太郎批判は「統治者の緊張関係を緩める役割を天皇制は果たしている」(森達也)という点では同感します。しかしそのもの言いは、余りにも平板で「品位」なしと思わざるを得ません。

山本太郎議員が提出した6件の質問趣意書で、秘密法の内幕が分かるみに出たことが幾つかあります。彼の「心情は、なさけない」だけではありません。また天皇に対しては、「信頼が僕も含め、左派リベラルの間で深まっている」と森達也さんが言う状況に現在あることの意味を、天野さんは考えたことはありますか？ 美智子さんについて言えば「五都市憲法草案」に言及していることの意味を考えたことありますか。

更には、宮内庁の反対を押し切って出席した二度目の鶴見和子さんを偲ぶ会で、石牟礼道子さんに「水俣はまだ大変ですね」と声をかけ、「患者の声を直接聞いてやってください」との石牟礼さんの訴えに応えた美智子さんを、天野さんはどう思われますか。

口惜しいけれど、私たちは天皇と美智子さんが果たしている影響力の何分の一のことが

出来ているでしょうか。そのことこそ、噛みしめるべきだと思うのです。いま負け続けているのは、私たちは依然として「口舌の徒」だと思ふのです。

八十路を前にしての昂ぶり、お許しください。

☆田中正造と山本議員の直訴

東京都港区 三輪幸雄

館林市にある新しくなった田中正造記念館へ行ってきました。足尾鉍毒事件、水俣病、福島原発事故……。「金が命よりも大切」とする強者の論理は明治から今に至るも変わっていません。田中正造の「直訴」は、天皇の権威に訴がるだけでなく、世論の喚起を願ったものでした。山本太郎氏も同じ気持ちだったのでしょうか。

☆劣化のほげしい無言館の絵

神奈川県藤沢市 高橋 健

無言館に行ってきました。快晴の山々の緑雲。館内の作品は想像以上に劣化が進んでいました。

(編集部：無言館では「絵織い基金」を募集しています。140号27頁参照)

☆がんばれ「全日本おばちゃん党」

愛知県名古屋市長 井澤陽子

「市民の意見」ありがとうございます。重く読みがあります。全日本おばちゃん党、すばらしい！ 関西弁というのはグサリ

と真実をつきながらおかしなくたくましく、頼りがいがある。がんばれ！
(編集部：138号に、谷口真由美「全日本おばちゃん党 結党！」が掲載されています)

☆若者を取り込む愛国主義

東京都板橋区 和登 直

どんどん日常のくらしが厳しくなっていく感じが増していきます。「負け組」に転落したと思ひ込んだ、その若者たちの恨みの受け皿が愛国主義なんて最悪のシナリオです。

☆アジアの人々に知ってほしい

愛知県名古屋市長 山下智恵子

憲法を守りぬくことで、この国の良識をアジアの人々、世界の人々に知ってもらいたいものです。

☆60年安保のようないねりを

東京都日野市 田所正夫

巷間では改憲派が元気で、護憲派は元気がないといわれていますが、何故、60年安保闘争時の様なウネリがおきないのだろうか？

☆大量殺人の道を歩むな

千葉県千葉市 長谷好男

一発の爆弾で、列島壊滅、福島原発そして命も滅びる。9条を骨抜きにし、大量殺人に向かう道。何としても許せない！

☆流されない目をとぎませよう

秋田県池田市 大西和典

時流（ムード）に流されやすい、に日本人の特質が現れてきています。（オリンピックでオスプレイも原爆も当たり前の存在になってきているようです。マスメディアに騙されない目をとぎませなければならぬ。

☆米国に泣き寝入りするな

埼玉県比企郡 大前健三

オスプレイ配置前のヘリ事故。また、日本の首相は泣き寝入りか。憲法改正（悪）よりやることがあるでしょ。

☆改憲阻止しよう

大阪府高槻市 野口里子

教え子を、息子を、孫を戦場に送らないために改憲阻止しよう。

☆次の世代へ安心な世の中を

石川県金沢市 沢口悦子

No.140号ずつしりと読み応えがありました。就職あと2年ですが、子供たちに安全、安心な世の中をバトンタッチしたいです。

☆10年続ける原爆忌スタンディング

東京都練馬区 吉川邦良

ここ10年ほど原爆忌standingを続けております。ことし（2013年）もなんとかわりきりました。毎年1〜4人くらいですが、つづけていきたいです。「一人でもやる、一人

でもやめる」。この言葉を肝に命じています。

☆原爆体験を語り継ぐ

福岡県筑後市 奥田琉美子

私も原爆被爆体験者としてあちこちで語り継いだ本、丸木俊著の『ひろしまのピカ』を子供や大人に読んでいます。

☆誰を戦争に行かせるのか

神奈川県茅ヶ崎市 杉本忠身

国防軍をつくるということは、いざというときは戦争をするということなのですが、いったい誰を戦争に行かせるつもりなのでしょう。

☆「平和憲法の国へようこそ」

愛知県名古屋市長 山本邦晴

東京オリンピックの開催、本当に実現できるか心配です。福島原発事故の收拾、周辺国との領土紛争等々。めどがつかないなら「平和憲法の国へようこそ」と外国選手団を迎えよう。

☆意思表示の場

神奈川県横浜市 大浦邦子

1944年9月28日生。政治的意思表示と運動の唯一の場です。たとえ直接参加できなくても。

☆9条2項を実現しよう

北海道札幌市 洪沢信之

9条2項を実現しよう。憲法はどの条項も

どれも実現する決意と意思がなければ実現不可能。決意と意思を風化させないようにしよう。

☆なんとかしたい

東京都大田区 佐藤 功

デモや集会に、なかなか足が向かわず、なんとかしないと、と思いつつ、くすぶっています。

☆長ささと早さに驚き

東京都品川区 五島昌子

140号、しっかり読みました。そして思わず140を12カ月で割り、11年と8カ月も続いている。いやまだそれだけだったのかとも思い、世の中ほとんどおかしくなって早さに驚いています。

（編集部／創刊は1988年8月。隔月刊ですの、継続期間は23年余りになります）

☆誌面の字体を大きくして

大分県大分市 小峰泰丸

高齢故に活字が小さく読みづらい。

「読者のおたより」の多くは、会費納入の際の郵便振替票に書かれたメッセージを使わせていただいています。匿名を希望の方は、その旨明記していただくと幸いです。残念ながら全てを掲載することはできませんが、多くのおたよりを今後ともお待ちしております。